

2017年度

教育と学費を考える集い

開催日時・場所

2018.2.17（土） 11：30 ～ 13：00

3階 大会議室

本日の予定

11：30 開会 藤原会長挨拶 ・ 堀江代表校長挨拶

11：40 2017年度の教育について

11：55 本校の学費・財政について

12：00 アンケート結果の報告と質問
 アンケートによる質問への回答

12：30 要望申し入れ

12：35 質疑応答

13：00 閉会

※ ひとこと感想をお願いします。

2017年度「立命館中学・高等学校の教育と学費と考える集い」 アンケート 集計結果

★中学 アンケート集計★

質問1	立命館中学・高等学校の学校教育について満足していますか。					
	とても満足	まあ満足している	どちらともいえない	どちらかといえば満足していない	満足していない	合計
1年	19	73	18	6	7	123
2年	22	93	29	12	2	158
3年	14	59	20	7	2	102
合計	55	225	67	25	11	383

質問2	今の教育と学費はバランスが取れていると思いますか。					
	取れていると思う	まあ取れていると思う	どちらともいえない	どちらかといえば取れていない	取れていない	合計
1年	8	43	42	21	9	123
2年	12	44	69	26	7	158
3年	9	34	39	15	5	102
合計	29	121	150	62	21	383

※中学生における学年未記入は7件あり、その集計は中学1年にてまとめております。

★高校 アンケート集計★

質問1	立命館中学・高等学校の学校教育について満足していますか。					
	とても満足	まあ満足している	どちらともいえない	どちらかといえば満足していない	満足していない	合計
1年	4	68	21	9	0	102
2年	7	30	18	6	1	62
3年	5	19	6	3	0	33
合計	16	117	45	18	1	197

※高2、高3 各一名 無回答

質問2	今の教育と学費はバランスが取れていると思いますか。					
	取れていると思う	まあ取れていると思う	どちらともいえない	どちらかといえば取れていない	取れていない	合計
1年	4	26	50	17	5	102
2年	4	15	25	14	5	63
3年	3	13	11	6	1	34
合計	11	54	86	37	11	199

平成30年2月17日

立命館小学校・中学校・高等学校
代表校長 堀江 未来 様

立命館中学校・高等学校
PTA会長 藤原 大門

教育と学費を考える集い質問状

この度は、先生方と保護者が教育と学費について、話し合う機会をいただき、ありがとうございます。保護者の皆様からいただいたアンケート結果をまとめましたので、ご一読いただき、ご回答いただければ幸いです。

さて、アンケートのご意見に関しましては、「多岐にわたる方向性を示した授業に非常に満足している」、「充実した取り組みに感謝します」や「熱心にご指導いただいている先生方への感謝」等々、学校に対して、良いご意見も多数ございましたが、本件におきましては質問状となりますので保護者の皆様の「疑問や要望」を、そして「学校に聞きたいこと」を上申いたしますので、わかりやすくご説明願います。

授業・学力について

- ① 教員の指導レベルの一定化を図ってほしい。教員同士での授業の行い方、内容、教え方を相互で確認されてますでしょうか。教員同士で話し合ったり、他の教員がどのような授業をされているのか外部だけでなく内部での公開授業も検討してほしい。
- ② 学習面での取り組みについてはとてもよく取り組んでいただいていると思いますが、実社会に出てからの①道徳面での教育 ②お金に関するマネー教育 ③最新技術におけるIT教育 について今後どのような教育を目指されるのか、また、実施しようとしているのかお伺いしたい。
- ③ 英検などの対策をあまりしてもらっていないようで、子どもたちも自分でどうやって勉強をしたら良いのかあまりわかっていないようです。学校での対策が取れないようであれば、書籍の案内や対策方法のプリントを配るなどの対応を希望します。
- ④ 難しい学習についていけない、基礎のできていない生徒に対する補講、補習を行い全体の底上げを図ってほしい。また、普通に理解できている子どもにとっても、もっと伸ばしたい意欲のある子どもたちへの補講・補習制度も検討していただきたいので、今後における補講等についての見解をお教えてください。

進学について

- ① 他大学を挑戦して受験する子どもたちにも立命館大学の推薦を認めていただけないのか、また、その見通しはあるのかどうかお答えください。
- ② 大学とのかかわりや学部・研究の説明紹介の機会をもっと増やしていただきたい。大学との連携についてもお教えいただきたい。

学費について

- ① 施設に費用をかけ立派ではありますが、教育においての、授業の質を上げてほしい。まずは学校

内だけで大丈夫な学力を形成いただかなければ、ほかで塾などにもいかせなければならなくなり、現在の授業料は高いように思われる。

- ② 高等な教育になればなるほどコストがかかることは十分に理解しておりますが、これからの子どもたちの可能性を広げる授業を展開するためには、授業料を上げざるを得ない状況なのか、下がる可能性もあるのか、今後の方向性をお教えてください。

保護者との連携について

- ① 自主自学を唱われているので、もっと「自主」を生徒のみならず保護者にも伝えてほしい。学校（教員）と子ども（保護者）の考え方の違いの大きさを感じます。それを縮めるよう保護者へのアプローチも検討いただきたい。
- ② 保護者も子育てについて先生方とお話しをしたり、講義を聞いたりする機会を与えてもらったことは非常に良かったので、今後も続けてほしい。今後の企画があるならば教えてほしい。

課外活動・部活動について

- ① 部活動のケアが不十分なところがある。クラブに先生が来られない。試合を練習試合感覚で指導されるので勝てない。子供たちの不満が募るばかり。というクラブ活動もあり全クラブがということではないかと思いますが、クラブ活動の在り方についてお教えいただきたい。

施設について

- ① 小学校で文化的な授業としてお茶を習ってきたが、中学に上がり素晴らしい施設（瑞兆軒）があるにもかかわらず利用していないので、非常に残念に思う。日本の文化に触れることはとても良いことなので、今後の施設の有効利用についてお聞かせください。
- ② ゴミだらけのクラスがあるように聞いております。学校だけの問題ではないと思いますが、勉強のできる環境づくり、ごみをそのままされている教育指導には問題があるので、改善を図ってほしい。清潔な勉強のできる環境づくりについて今後どのような対策が考えられるでしょうか。

小中高一貫教育について

- ① 小学校の先進的な教育を継続してほしい。という意見もありました。中高からみる小学校の教育が先進的と言われるものはどんな教育だとお考えでしょうか
- ② PCを小学校5年でセカンドステージにて使用するという事で購入したが、中学に上がってからは全く使用していない。PC教育についての小学校との連携はどのようなお話し（引継ぎ）をされているのでしょうか。
- ③ 4・4・4制において、学校が離れていることもあり、現在、長岡京校に5年6年生が一時期、登校しておりますが、長岡京校として小学生を受け入れるにあたり気を付けていることをお聞かせください。また、保護者として取り組む（協力できる）ことがあればお教えてください。

その他

- ① 中学校の柔道着、高校の白衣、は全購入ではなくレンタル制度や貸与制度などの方法も検討いただきたい。また、制服のリユースについての今後の見解もお聞かせいただきたい。
- ② ホームページを利用してもっとタイムリーに情報を提供してほしい。

2018 年 2 月 17 日

立命館小学校・立命館中学校・高等学校
代表校長 堀江 未来 様

立命館中学校・高等学校
P T A 会長 藤原 大門

申入書

私たち保護者は、2018 年度以降の学費改定及び学校教育に対して、下記の改善を要望します。

記

要望

- 1 入学時の学費を卒業まで据え置いてください。
- 2 学費の分納について 10 回分納を原則として認めてください。
- 3 学費の値上げが保護者の経済状況を圧迫することをきちんと受けとめて、学費の値上げがやむを得ないのであれば、その理由を具体的な資料を基に保護者がきちんと理解できるように説明してください。
- 4 学費が払えなくて学校をやめる生徒を出さないため、学費減免制度の拡充と奨学金制度を充実させてください。
- 5 すべてのコース・学年・クラスにおいて、一人ひとりの生徒に目を配り、保護者の意見をくみ取ることにより、学費が有効に使われていることを実感できるような教育を実践してください。
- 6 教育方針や学校会計についての保護者への説明会及び意見交換会を今後も継続してください。
- 7 保護者が私学助成運動の成果を実感できるよう私学運営補助金の増額に向けて、学校としても国及び京都府・近隣府県にも積極的に働きかけてください。

要望趣旨

歴史と伝統があり教育環境の整った立命館中学校・高等学校に子どもたちは誇りをもって通っています。

私たち保護者は、立命館の「自由と清新」という建学の精神、そして「平和と民主主義」を教学理念とし立命館学園が推進しておられる小中高一貫教育における質の高い教育を子どもたちに受けさせたいという考えから、立命館中学校・高等学校に通わせております。しかしながら、年間 90 万円以上の学費及びその他費用は家計に大きな負担になっているのが実情です。

現在、実施されている「公立高校授業料不徴収および私立高校等修学支援金制度」により私立高校では幾分かの学費軽減となりましたが、公立・私立での保護者の経済負担には未だ大きな差があります。高額な学費支出に対して「子どもたちはそれに見合った教育を受けているのか」「コースにより教育の差はないか」という疑問を持たれる保護者がおられることも事実です。

保護者が「教育と学費」について、どのように考えているかということを十分ご理解していただいた上で、保護者の疑問や要望に対して説明をしていただきたいと思います。

政府における教育無償化が取り沙汰されております。未来を担う子供たちが学校選択の自由を保障するために 国・府県の教育予算を増額し、私学に通う生徒・保護者の学費負担軽減を要望します。私学教育本来の良さを一層発揮するための教育条件 維持・向上を図るために、就学支援金の拡充と私立校への経常費助成の増額・拡充を願い、保護者は私学助成署名活動を通して積極的にかかわってまいります。

学校としても 国及び京都府のみならず近隣府県にも積極的に働きかけていただけるようお願いいたします。

子どもたちとその保護者が「立命館で学んで良かった」と思えるようにしていただくことを心から願っております。そのためにも、私たち保護者自身が家庭での取り組みも含めて努力して参りますので、学費に見合った教育における質の向上を要望するものです。